

当協会の業務内容について

(社)北海道林産技術普及協会 事務局

会員の皆様には、日頃、当協会の運営について一方ならぬご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、去る11月2日、旭川市において第24回通常総会を開催し、議案が原案どおり承認されましたが、ご出席いただけなかった会員の方々には、当協会の事業内容を詳しくお知らせする機会を失っております。

よってここに、旧年度と新年度（昭和63年10月1日～64年9月30日）の事業内容を議案集にもとづいて、ご報告いたします。

当協会事務局一同、当協会の事業が会員の皆様方のお役に立ちますよう、鋭意努力いたす所存でございますが、皆様方におかれましても、今後とも、ご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、決算関係や役員名につきましては、本誌 11月号でご報告申し上げます。

昭和62年度業務報告（議案第1号）

I. 一般事項

1. 会員数

会 員 別	57年	58年	59年	60年	61年	62年
特 別 会 員	39	39	47	48	61	64
通 常 会 員	331	473	581	593	601	607
同 上、個 人	115	157	146	154	143	128
計	485	669	774	795	805	799

2. 通常総会

開催月日 昭和62年11月4日（旭川市）

会 員 数	出 席			出 席 率
	実 人 員	委 任 状	計	
805	122	522	644	80%

議決事項

- 1) 昭和61年度業務報告及び決算報告の承認
- 2) 昭和62年度事業計画及び予算案の承認
- 3) 加速的技術開発支援事業の承認
- 4) 昭和62年度における借入金の最高限度額の承認
- 5) 役員補充選任の承認

3. 理事会

- 1) 昭和62年10月23日、旭川市において、通常総会に提案する議題について審議した。理事23名中、会長以下17名の出席を得て原案どおり承認した。

席を得て原案どおり承認した。

- 2) 昭和62年11月4日、旭川市において、副会長、常任理事選任の件、顧問推薦委嘱の件について審議した。理事23名中、会長以下13名の出席を得て原案どおり承認した。

4. 監事監査

昭和62年10月18日、旭川市において、昭和61年度業務全般について監査した。

II. 事業活動

1. 出版事業

機関誌「木材の研究と普及（副題、ウッドイエジ）」は410号から421号の12回を発行した。このうち、下記を特集号として発行した。

- 1) 木材乾燥（昭和62年10月）
- 2) 木造住宅の保守管理（昭和62年12月）
- 3) 木の良さ・木の香りを教室へ（昭和63年7月）

また、シリーズ「最近の木工機械と刃物」を大課題として、下記の7回を連載した。

- (1) 近年の国産木工機械メーカーの生産動向と新製品開発の方向性
全国木工機械工業会（昭和63年3月）
- (2) 太平フィンガージョイントシステム

- (株) 太平製作所 (昭和63年4月) 北海道立林産試験場
 (3) 最新の木工機械と集成材の製造設備 (財) 旭川建築技能協会
 (株) 菊川鉄工所 (昭和63年5月) 期日 昭和63年4月13日
 (4) 集成材(化粧張り造作用) 製造工場の 会場 北海道立林産試験場
 工程別機械構成 受講者 48名
 飯田工業(株) (昭和63年6月) 内容 建築と木材, ログハウスの建築技
 (5) 刃物の選び方と新製品の活用例 術
 兼房刃物工業(株) (昭和63年7月) (3) 木材保存講習会
 (6) 独創技術で木材加工の多彩なニーズに 主催 (社) 北海道林産技術普及協会
 対応 (社) 日本木材保存協会
 庄田鉄工(株) (昭和63年8月) 北海道立林産試験場
 (7) H E I A N のメカトロマシンとソフト 後援 (社) 北海道林産物検査会
 システム 期日 昭和63年4月15日
 (株) 平安鉄工所 (昭和63年9月) 会場 北海道立林産試験場
 受講者 28名
 内容 薬品処理木材の製造基準, 道内の
 薬品処理木材の実情, 劇毒物の留
 意点
2. 講演会
 講演
 主催 (社) 北海道林産技術普及協会
 (社) 日本木材加工技術協会道支部
 後援 北海道立林産試験場
 期日 昭和62年11月4日
 会場 旭川市拓銀ビル
 聴講者 142名
 演題 天敵の話—ダニを食うダニ—
 北海道大学農学部教授 森樊須氏
3. 講習会
 (1) 木材接着講習会
 主催 (社) 北海道林産技術普及協会
 (社) 日本木材加工技術協会道支部
 後援 北海道立林産試験場
 期日 昭和63年1月21日, 22日
 会場 北海道立林産試験場
 受講者 14名
 内容 木材の構造, 木材の物理的性質,
 木材接着の基礎と接着剤, 集成材・
 単板積層材の製造, 合板製造・オ
 ーパレイ加工, 木質材料の性質と
 特徴, パネル及び建築接着, 家具
 木工と接着技術, 接着製品の試験
 法, 接着用機械器具
- (2) ログハウス建築技術講習会
 主催 (社) 北海道林産技術普及協会
- (4) 木材乾燥技術講習会
 主催 (社) 北海道林産技術普及協会
 (社) 日本木材加工技術協会道支部
 北海道立林産試験場
 後援 北海道集成材工業会
 北海道乾燥材普及協議会
 期日 昭和63年9月8日, 9日
 会場 北海道立林産試験場
 受講者 46名
 内容 木材の性質と木質材料, 木材と水
 分, 木材乾燥装置, 熱管理, 木材
 乾燥操作スケジュール, 木製品の
 含水率管理と水分計, 単板乾燥,
 実習
4. 受託事業
 (1) 調査業務の実施
 ① 北海道林務部道有林管理室から3年計
 画で受託した「広葉樹未利用材等の用途
 開発と経済性に関する調査」のうち, 2
 年度分「広葉樹未利用材・形質不良材の
 加工特性調査」を実施, 報告書を提出し
 た。
 ② 釧路土木現業所から中標津空港ターミ

ナル地域環境整備調査を委託され、報告書を提出した。

- ③ 北海道立林産試験場から地域特性森林資源利用促進事業開発推進委員を委嘱されるとともに、これに関連する異樹種集成材を利用した試作品の製作と「異樹種集成材の最適生産システム開発調査」の委託をうけ、報告書を提出した。

(2) 防菌・防虫木材の分析

(社)北海道林産物検査会から試験を受託し、防菌・防虫木材の分析を行った。

(3) 加速的技術開発支援事業

中小企業事業団から委託をうけ、標記の事業を実施した。その内容は第3号議案に記載のとおり。

5. 開発製品の普及事業

円柱材・北海校倉ハウスの普及

カラマツなど小・中径材の利用拡大を目的とした円柱材製造の技術指導と北海校倉ハウスの普及業務及びログハウス建設部会の運営を行った。

6. 各種の講演会、研究会、大会等への協賛

- (1) 北海道立林産試験場が実施した林産技術交流プラザ（昭和62年11月9日～11日、網走支庁管内）に協賛した。
- (2) 北海道が主催する昭和62年度林業技術研究発表大会（昭和63年1月20日、21日、札幌市）に協賛した。
- (3) 北海道、札幌通産局ほか主催する第1回北の産業デザインコンペティション（昭和63年3月24日～28日、札幌市）に協賛した。
- (4) 第38回日本木材学会大会（昭和63年7月19日～21日、旭川市）に協賛した。
- (5) 旭川市商工会議所、旭川バイオテクノロジー推進懇話会の主催する講演会（昭和63年7月19日、旭川市）に協賛した。

昭和63年度事業計画（議案第2号）

1. 講演会・講習会の開催

木材業界の技術水準向上のため、適時各種

講演会・講習会を開催する。

(1) 講演会

「最近の海外における植林とその利用について」

日商岩井株式会社 森 正次氏

（昭和63年11月2日、旭川市拓銀ビル）

(2) 講習会

木材乾燥のローコスト化に関する講習会

（期日未定、旭川市）

(3) その他講習会

2. 刊行物

会誌「木材の研究と普及（副題ウッドエイジ）」を毎月発行、うち特集号を数回、新技術に関するシリーズを連載する。

3. 受託事業

(1) 調査業務の実施

- ① 道有林管理室より受託の「広葉樹未利用材等の用途開発と経済性に関する調査」を実施する。
- ② (財)日本木材備蓄機構の実施する木材総合情報センター事業のうちの木材総合情報収集整備事業に係る情報モニターの委嘱を受け、調査報告する。

(2) 道産木製品展示館（仮称）の運営受託（議案第9号）

(3) 防菌・防虫木材の分析

(社)北海道林産物検査会より受託の標記を実施する。

(4) 加速的技術開発支援事業

中小企業事業団から委託される標記の事業、内容は第4号議案別記のものについて実施する。

(5) 地域材活性化対策事業

上川支庁から委嘱される地域材流通加工システム高度化事業の地域材振興基本計画策定委員会に参加するとともに、この事業の一部である標記の事業の委託をうけ実施する。（第6号議案別記）

(6) モデル木造施設の宣伝普及業務

北海道から委託される標記について、中標津空港ターミナルビル、道産木製品展

- 示館（仮称）に係る宣伝普及業務を実施。
 (7) 名寄市ウッドコミュニケーションタウン整備促進事業の製品開発の実施。

4. 開発製品の普及事業

円柱材・北海校倉ハウスの普及事業

円柱材製作の指導，北海校倉ハウスの普及業務ログハウス建設部会の運営にあたる。

5. 各種の講演会，研究会，大会等への協賛

北海道立林産試験場が実施する林産技術交流プラザほか，各種団体の開催する講演会等に協賛する。

第3号議案別記

加速的技術開発支援事業報告（昭和62年度）

全体事業の概要

区分	内容		
(1) 推進体制	本事業を推進するため、(社)北海道林産技術普及協会に林務部長他17名の委員によって構成する推進委員会を設置し、地域中小企業構造の高度化及び地域の活性化を図るための技術的対応の方向及び具体的実施内容の検討並びに各事業間の調整等本事業の遂行に必要な総合管理を実施した。		
(2) 技術指導	形態	対象	件数
	一般指導	各地域内の木材関連団体や企業に対して技術指導を行った。	14件
	転換指導	転換技術開発を実施する企業に対して、木目細かな技術指導を行った。	2件
(3) 転換技術開発	研究、開発テーマ	課題	
	「テーピングによる単板横はぎ技術の確立」	小径木、曲り材等を合板の表板として利用するため、合板製造の調板工程における横送り（繊維方向と直角に移動）のテーピングによる横はぎ（つぎ合せ）技術を新たに確立した。	
	「木質系住宅用部材の接着・圧締技術の確立」	木質系異種材料の組み合わせによる住宅用部材を製品化するに当たり、課題となっている接着、圧締技術の確立を図った。	
(4) 共通基盤的技術開発	研究、開発テーマ	課題	
	「道産針葉樹材の単板切削と含水率に対応した選別技術の確立」	道産針葉樹を合板に利用するに当たり課題となる切削技術、単板品質検査、単板連続高含水率測定技術の確立を図った。	

第4号議案別記

加速的技術開発支援事業（案）（昭和63年度）

全体事業の概要

区分	内容		
(1) 推進体制	本事業を推進するため、(社)北海道林産技術普及協会に林務部長他17名の委員によって構成する推進委員会を設置し、地域中小企業構造の高度化及び地域の活性化を図るための技術的対応の方向及び具体的実施内容の検討並びに各事業間の調整等本事業の遂行に必要な総合管理を実施する。		

(2) 技術指導	形態	対象	予定件数
	一般指導	各地域内の木材関連団体や企業に対して技術指導を行う。	16件
	転換指導	転換技術開発を実施する企業に対して、木目細かな技術指導を行う。	1件
(3) 転換技術開発	研究、開発テーマ	課題	
	「北海道広葉樹単板を利用した住宅内装材製造技術の確立」	合板用単板を活用して住宅内装材を製造するために課題となっている平滑で、裁断面の精度に優れた単板を得るための乾燥、裁断、接着技術の開発を行う。	
(4) 共通基盤的技術開発	研究、開発テーマ	課題	
	「化学的処理による多機能合板製造技術の確立」	合板に、耐水性や耐熱性、難燃性等の新たな機能を付与し、合板需要の拡大を図るため、品質的に優れ、低コストで、かつ合板工業に導入可能な新しい化学的処理技術の開発を行う。	

第6号議案別記

地域材流通加工システム高度化事業（昭和63年度）

- 事業内容 ① 地域材振興基本計画策定事業
 ② 地域材活用高度化推進事業
 ③ 地域材活用高度化施設等整備事業
 ④ 地域材活性化対策事業

地域材活性化対策事業（昭和63年度）

地域材関連情報収集・提供

- (1) 事業実施主体（社）北海道林産技術普及協会
 (2) 情報収集

情報入手先	対象分野	主な内容
情報委員会	木材関連団体及び業者 道立林産試験場等関係 行政機関	地域内における新商品・新技術及び地域材活用ノウハウ、異業種連携情報の入手
先進地調査	間伐材の利活用及び乾燥システム等に関する先進地	地域の内外における新商品・新技術や乾燥技術等地域材活用重点技術及び異業種連携の事例等について情報の入手

(3) 情報提供

提供方法	提供対象	主な内容
資料・ビデオ等を情報媒体として提供する	道内木材関連団体及び業者 関係行政機関	地域の内外における新商品・新技術を（上記の先進地調査の内容について実施する）

第9号議案別記

道産木製品展示館（仮称）の運営受託事業

道立林産試験場の構内に建設される展示館の有効活用と円滑な運営に参加し、林産技術の普及啓蒙を図るため、次の事項を受託する。

（運営に係る主な事項）

1. 展示内容の充実並びに展示館の管理
2. 展示に関する案内・解説・相談・斡旋
3. 展示館及び外部環境を活用したイベントの企画・運営
4. 展示館活用委員会（仮称）の運営

以上